



2009年1月13日
東京女子医科大学

「教育・学習支援プログラム」(e-ラーニング)

「臨床復帰へまず第一歩」を支える女性医師への実践的再教育

(文部科学省・平成20年度)「社会人学び直しニーズ対応教育推進委託事業」

東京女子医科大学はこのたび、文部科学省 平成20年度 「社会人学び直しニーズ対応教育推進事業委託」を受け「臨床復帰へまず第一歩」を支える、女性医師への実践的再教育事業のひとつとして、「教育・学習支援プログラム」(e-ラーニング)を開始いたします。これは、本学女性医師再教育センターの活動を支援する、インターネットを介した新たな教育・学習支援プログラムです。

2006年11月に女性医師再教育センターが開始した「再教育-復職プロジェクト」は、結婚、出産、育児などにより臨床を離れた女性医師が、臨床の勤を取り戻し、再び安心して現場に戻るための研修機会を提供する臨床研修プログラムです。研修実施先は本学附属の各医療施設のほか、本件主旨に賛同された全国各地の医療機関に加え、医療施設の全国的ネットワークを有する日本赤十字社および社会福祉法人恩賜財団済生会と連携し、医師紹介業を本業とする(株)メディカル・プリンシプル社が橋渡し役を担うことで、まさに全国的な体制を整えるにいたしました。

本学のこれまでの試みが文部科学省の補助事業に選定されたことは、女性医師の復職への支援がますます社会的重要性を増しており、その支援活動が評価されたことと受け止めています。「再教育-復職プロジェクト」により、再研修に参加された女性医師の臨床現場復帰意欲は高まり、非常に効果はありました。併しながら、原則通学制であるためより多くの女性医師へ再研修の情報を直接届けることに関して困難がありました。

そこで今回、新たなプログラムとして、インターネットを通じた情報提供に多くの経験を有するグラクソ・スミスクライン株式会社に参画していただき、本学と共同で「教育・学習支援プログラム」(e-ラーニング)を立ち上げ、このほど、パイロット版のサービスを開始いたしました。これにより、さらに多くの臨床を離れた女性医師へ情報を提供し、再研修への参加を促進することができると考えます。これまで様々な制約のために参加が叶わなかった女性医師が、自宅での空き時間を利用して最新の医療情報を入手するなど、臨床研修プログラムに参加が可能となる時期までの期間を有効利用することが可能となります。また、既に研修中の女性医師が併用することで、現場復帰時により一層の効果を発揮することも期待されます。もちろん、「再教育-復職プロジェクト」と同様、利用者の負担は一切ありません。

プログラムは、「臨床に必要な基本的項目」、「臨床に必要な実践的項目」、「女性医師のキャリアに関する項目」など、一人ひとりに必要に応じた情報を選択できる構成となっており、臨床研修プログラム同様、「オーダーメイド」の研修を実施できる体制を準備いたしました。より多くの復職を目指す女性医師の支援につながることを期待しています。

<お問い合わせ先>

東京女子医科大学 総務部広報室

TEL 03-3353-8112 (内線 31211・31212)

<http://www.twmu.ac.jp/CECWD/index.html>